認知症サポーター養成講座

～ご本人、身近な方の物忘れが気になる方へ～

6月24日（土）　午後2時～4時

小竹図書館　2階会議室

明日のわたしのためだから――。
認知症サポーターになってみませんか？

「認知症の人は何もわからない」のではありません。もの忘れがひどくなり、不安いっぱいのご本人が、実は一番苦しい思いをしています。しかしながら周囲の人々が、認知症の人の障害を理解し、その人ができない部分を補う「杖」となれば、自分でやれることが増え、穏やかに暮らすことも可能です。偏見という心のバリアをなくし、一人でも多くの「人間の杖」を増やしていく――。これが、厚生労働省がすすめている「認知症サポーター100 万人キャラバン」です。高齢化社会に向かう日本。あなたも認知症サポーターになって、誰もが暮らしやすい街をつくっていきませんか？

■認知症サポーターとは

認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族を温かく見守る応援者です。

■認知症サポーターになるには

「サポーター養成講座」を受講すると、受講後、「認知症の人を支援します」という意思を示す「**オレンジリング**」が手渡され、「認知症サポーター」になることができます。

講　師：練馬区高齢者相談センター
第２育秀苑支所 主任介護支援専門員　村松マキ氏

定　員：30 名（事前申込制）

対　象：一般(中学生以上)　　参加費：無料

申込み：小竹図書館カウンターまたは電話にて
☎ 5995-1121